

「生涯学習」の合言葉

いつでも どこでも だれでも なんでも

ゆきの灯り

第63号

令和4年4月発行

油木協働支援センター

TEL 82-0701

FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビィ



3月7日(月)、門田英明・茜先生を講師に招き、「味噌作り教室」を開催しました。当日は、油木以外にも参加していただき、「神龍味噌」の極意を教わったり、「大豆」の話や「味噌と納豆菌」の話など、「実技」以外でも勉強になることが多かったようです。今回作った「味噌」は10月頃から食べられるということです。



3月15日(水)、平田サア子先生を講師に招き、「パン作り教室」を開催しました。本来は1月開催予定でしたが、新型コロナの関係で3月に延期となりました。当日は、「シフォンケーキ」「コスイートドーナツ」の2品目を作りました。講師の説明を聞きながら、和気あいあいと調理できました。



3月9日(水)、若林佐都子先生を講師に招き、「大人のアートクラブ」を開催しました。当日のテーマは「春の花を描く」で、色鉛筆でカーベラの花を描きました。カーベラは花びらが多く、模写するのも難しい画材でしたが、作品は講師のアドバイスで丁寧に仕上がりました。



大人が生涯学習を始める3つのメリット

- 1 人間として成長できる。
- 2 人脈が広がる。
- 3 視野や考え方が広まる。

ゆきなび —大人の教室—

そして、
その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が重要です。



「新型コロナウイルスまん延防止等重点措置」の影響で、1～3月期も予定されていた教室等の多くが中止・延期となってしまいました。令和4年度は普通の生活が戻り、「生涯学習・社会教育活動」を通じて、住民間のコミュニケーションがさらに深まれば良いですね。



油木小学校4年生児童が、「トマトせんになんすけだせ」「わくくんごんげん山にのぼる」という絵本を制作しました。神石高原町のキャラクター「4仙人」をテーマにした作品です。

文化イベントの種

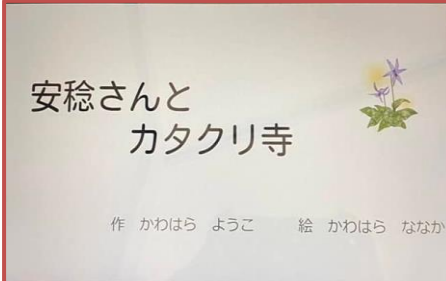
昨年12月に天徳寺(小野)で開催された、「堅香子図とともにエスタシオン音楽鑑賞会」で天徳寺・高橋住職ご夫妻のために、エスタシオンが作詞・作曲をした「カタクリの花」が新曲として堅香子図をジャケットにCD化され、3月11日に配信されました。

さらに、開催時に高橋住職の「カタクリ」を題材にした法話も感動を呼び、法話を元にして「安穂さんとカタクリ寺」(作・かわはらようこさん、絵・かわはらななかさん)という絵本が完成し、庄原市の小奴可小学校で披露されたという報告がありました。

今回開催した文化イベントを通して、それがきっかけとなり、さらに広がりが続いていくということは、まさに「生涯学習」です。

イベントを主催した油木協働支援センターとしても、うれしい出来事となりました。

これからも、いろいろなことがきっかけとなり、驚きの連鎖が続くことを期待しています。



右記CD/絵本のお問い合わせは「天徳寺」、上記絵本のお問い合わせは「油木小学校」へお願いします。

社会教育委員・公民館運営審議会委員の皆さん、力を貸してください!

3月5日(土)、油木協働支援センターを会場に「広島県生涯学習研究実践交流会」が開催されました。当日は町内の「社会教育委員」「公民館運営審議会委員」の方々が出席され、ウエブ会議で他市町の取り組み事例を通じての研修が行われました。交流会終了後は、「ししかわ化石館」へ移動して視察もしていただきました。常々アピールしているように、油木協働支援センターは「ししかわ化石館」を「神石高原町の宝」と捉えています。今回の研修・視察を通じて、「生涯学習・社会教育の充実」について、関係各位とのパイプ(橋渡し)的役割をしていただけるようお願いします。



令和4年度 折鶴献呈

今年もまた夏の日がめぐってきます。町内各協働支援センターでは、例年広島を訪れ「平和を祈る折鶴」を献呈し、平和を祈念する活動を行っています。今年も「平和を祈る折鶴」のご協力をお願いします。

折鶴に必要な「折り紙等」は、油木協働支援センターに準備しています。ご連絡ください。



- 全世界から争いがなくなることを願っています -

にしかわ化石館



「にしかわ化石館」は「実物」に触れて学習することができる施設です。10月の開館以来多くの来館者に「満足」していたいています。確かに他市町の「社会教育施設」と比べると物足りない部分も多いのが現状です。今後は施設・設備をさらに充実させ、他市町と肩を並べられる「神石高原町の社会教育施設」となるよう、取り組みを進めていきたいと考えています。令和4年度も「にしかわ化石館」をよろしくお願ひします。

大人の化石教室

3月17日（木）、「大人の化石教室」を開催しました。

この企画は、「故西川功氏のこと・化石館のこと・学術的専門的なこと等」を一般の方にも理解共有していただき、「化石」を通じて「地域資源を発掘・継承・活用し、地域の活性化を図る。」

「地域資源を生涯学習に活用する。」「資源の魅力化による地域価値の向上を図る。」（JICAを目的として開催しました。

初めての教室開催となりましたが、当日は町外からも参加いただき、自身の濃い内容となりました。

令和4年度も今回のような大人の企画を通じて、「にしかわ化石館」の文化的価値がさらに高まり、広く内外に周知されることを願っています。



豊松小学校校外学習

3月4日（金）、豊松小学校6年生（4名）が理科の学習で来館しました。

館内の展示物の多さに驚いたり、実際に化石発掘体験をしたりと、充実した時間を過ごすことができたようです。

「自分で石を割って、実際に化石を見つけたのでよかったです。」等、本物に触れる学習ができたことをよろこんでいました。

発掘した化石は大事に持ち帰りました。いろいろな発見ができたようです。



府中市国府公民館化石教室出前講座

3月26日（土）、化石魅力化プロジェクトとして初めての町外出前講座を開催しました。

この企画は、府中市国府公民館の小学生向講座の一環で計画され、声をかけていただき実現したものです。

講座当日は、国府小学校児童23名が参加し、化石についての学習や体験活動（レプリカ作成・発掘体験）を行いました。

参加者は1〜4年生ということでしたが、事前にインターネット等で「化石」について調べた児童もあり、活発な発言ができていました。体験活動とともに、講義では3億年前の府中市の様子を学んだり、あいにくの空模様でしたが楽しい時間を過ごすことができたようです。



神石高原ライオンスクラブ・いちば会のご厚意により、「にしかわ化石館案内看板」を設置することができました。地域の皆様のご協力に感謝します。



にしかわ前



百彩館前交差点

地域おこし協力隊として活動していただいた、尾森武尊さんが3年間の任期を終えました。振り返れば、この3年間に故西川功氏が遺された7,000点もの化石・鉱石類の整理や調査等を中心に、「にしかわ化石館」開館にあたり、「化石魅力化プロジェクトリーダー」として尽力していただきました。ありがとうございました。

「にしかわ化石館」が「神石高原町の宝・生涯学習/社会教育の拠点」として、さらに実績を積み重ねていかなければならない令和4年度スタートにあたり、とても残念でなりません。今後は、後方支援という間接的な形となりますが、これからもよろしくお願いいたします。

「ひとみキラキラ 本にどきどき」

4月23日～5月12日は

第64回「こどもの読書週間」です。



親子の会話を増やし深める機会として読書を活用することも大切です。

—安らぎのある楽しい家庭をつくるために— (参考：鹿児島県教育委員会社会教育課「かごしま家庭教育ナビ」)

子どもたちは、家庭は「家族みんなが楽しく過ごす場所」であることを望んでいます。家族が意識的に協力し合い、子どもにとって心安らぐ居場所になっているかどうか、家庭生活を見つめ直し、安らぎのある楽しい家庭をつくりましょう。

家庭はすべての教育の原点であり、愛情による絆で結ばれた場であり、常に、子どもの心のよりどころとなるもの(ところ)です。



○親の笑顔が子どもの笑顔をつくる
親のイライラは子どもにも伝わっていくものです。大変な子育てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。リフレッシュする時間をつくりましょう。

○子育ては家族みんなで
子育ての主体は、父親と母親の双方です。共に親として成長していく必要があります。家族がお互いのことを思いやり家事や育児を分担・協力し合うことが大切です。

○一人で悩まず、前向きに子育てを
様々な悩みなどは、親や友人の協力を得たり、地域の相談窓口や育児サークルといった、子育てを応援・サポートしてくれるシステムなどを積極的に活用しましょう。

○親子のコミュニケーションが大切
夫婦の間、親子の間での会話を増やしていくことが、家庭づくりのすべての基礎になります。



☆地域で子どもを見守り育てましょう (油木協働支援センター)